

地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲

2019
7月
No.62

 兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

だより

[診療科紹介]

皮膚科
ER総合診療科



[AGMC委員会・部会めぐり] 省エネルギー推進委員会

- 患者さん・ご家族への病状説明等について
- ぶらり〜っと病院探訪
- セミナーのご案内
- スタッフのつぶやき

皮膚科

急性、難治、重症疾患に対応し、安全性を重視した質の高い医療を提供しています

病院全体の機能、皮膚科スタッフとも大学病院を除く阪神間の病院では最も充実し、診療所、クリニックで対応困難な重症、難治、悪性疾患を中心として多くの皮膚疾患に対応しています。入院、手術を含めた重症、難治患者さんの治療、診断や原因特定が困難な場合の病理、血液、画像検査、他科との連携が必要な治療、アトピー、乾癬などに対する注射(生物学的製剤)など新しい治療法を中心としています。



皮膚科 科長

工藤 比等志

- 京都大学医学博士 ● 京都大学臨床教授
- 日本皮膚科学会専門医
- 兵庫県皮膚科医会幹事



提供する活動内容

皮膚の良性腫瘍とがん、皮膚潰瘍、アトピーなどの湿疹・皮膚炎、じんましん、膠原病、水疱症、脱毛症、皮膚感染症、薬疹や食物アレルギー、乾癬・掌蹠膿疱症など幅広い皮膚の病気に対応しています。昨年度実績は1日平均外来患者数55.4、同入院患者数5.1、紹介率68.8%、逆紹介率74.3%、皮膚生検と手術合計719件、年度末時点での乾癬、アトピー性皮膚炎等の生物学的製剤治療患者数63人でした。医療機器に関して、昨年度は紫外線照射装置の更新とポータブルエコーの新規導入を行っています。



左から：宗元 紗和、工藤 比等志、吉田 はる香、佐々木 洋香



◀紫外線照射装置



患者さんや地域医療機関へのメッセージ

重症の方へ対応するため、予約時間通りの診療が困難なこともあります。紹介状を書いていただいで予約受診の方が待ち時間は短くなります。症状が落ち着いた場合は、継続治療のできる地域医療機関へご紹介しています。



ER 総合診療科

「病気とともに人を診る」

私たちの仕事は患者さんの訴え・悩みに耳を傾けることから始まります。診断が間違っていたり・分からなければ正しい治療は始められません。目的地に行くためには、正しい電車に乗らなければ辿り着けません。患者さんが正しい方向に走り出せるようにサポートできる存在を目指しています。「うちの科ではないと言われた」「症状があって困っているけど何科を受診すればよいのか分からない」という方は、私たちER総合診療科の外来を受診してください。私たちは「病気とともに人を診る」をモットーに日々の診療を行っています。(井場大樹)



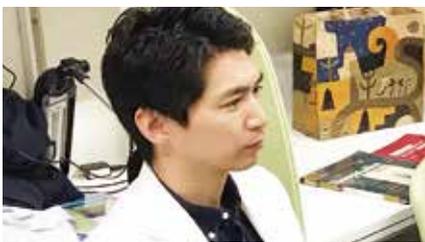
ER総合診療科 科長
(救命救急センター長、感染症内科 科長兼)

吉永 孝之

- 日本内科学会認定総合内科専門医・登録指導医
- 日本消化器病学会認定消化器病専門医
- 日本肝臓学会認定肝臓専門医
- 日本救急医学会救急科専門医
- ICD制度協議会認定 Infection Control Doctor

構成メンバー

スタッフ9名、フェロー5名、専攻医9名、医局秘書1名 計24名



提供する活動内容

発熱、頭痛、胸痛、腹痛、しびれ、めまい、倦怠感、浮腫、リンパ節腫脹、体重減少などでお困りの方、検診異常、原発不明癌、HIV感染症、海外渡航帰りの発熱、ワクチン予防接種、何科に受診してよいか分からない方の診療を行っています。2類感染症指定医療機関、HIV拠点病院に指定されています。2018年の新規外来患者数は1351人、再来患者数は7967人でした。

患者さんや地域医療機関 へのメッセージ

感染症内科とは協同で診療を行っており、感染症を疑う場合も含めて病院の窓口としてご利用ください。



委員会・部会めぐり

— 豊かな医療を育むための協議 —



適切な運営および安全な医療提供を行うために、多職種で運営されている院内委員会・部会です。

省エネルギー推進委員会

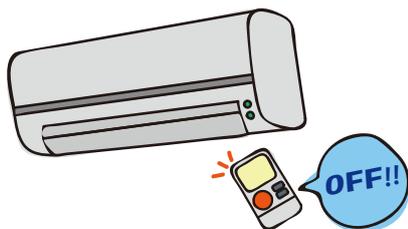


省エネルギーへの取組にご理解をお願いします!

委員会の紹介・特徴

尼崎総合医療センターでは、温室効果ガス排出抑制への取組等を進めるために「省エネルギー推進委員会」を設置して、院内のエネルギー効率化を推進しています。当委員会は、院内のエネルギー使用状況等を調査するとともに、省エネルギーへの様々な取組の呼びかけをしています。

OFF ON



副委員長
(経理課 課長)
田路 修康

委員長
(経営企画部 部長)
葉山 琢



省エネルギー推進委員会 メンバー

活動内容

院内の電気・ガス・水道の使用状況を報告するとともに、照明の点灯時間の見直し、空調の設定等、省エネルギーへの取組の検討を行いました。また、院内で働く方に向けて、照明や空調のスイッチ付近に、「不必要な照明の電源オフ」や「個別空調の使用抑制」についての張り紙を行うなど、省エネルギーへの呼びかけを行っています。夏場は、エネルギー消費量が特に増加しますので、省エネルギーへの取組について一層のご理解をお願いします。

患者さんや地域医療機関へのメッセージ

省エネルギーへの取組は、エネルギーを消費する方全員が、一致団結して推進していかなければ、達成することはできません。当委員会では、温室効果ガス排出抑制による地球温暖化の防止を図るためにも、より一層の省エネルギーへの取組のご協力を呼びかけていきます。患者さんや地域医療機関の皆様には、当院の取組へのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



太陽光発電設備

太 陽光発電設備を探訪してきました。環境に優しいエコホスピタルであることを特徴とする当院には、太陽光発電設備が屋外にズラリと設置されています。

エレベーターの一番上のボタンを押して、最上階へと降り立ちます。南側の屋外に出ると、青空の下に群青色のパネルがキラキラと輝いて、心地よい風がその上を通り過ぎていきます。日当たりを確保するために視界を遮るものは何もなく、遠く大阪平野のビル街を望むことができます。

太陽光パネルはこの最上階のほか、7階、5階の南側屋外部分にも設置されています。残念ながらどの場所も一般の方が立ち入りすることはできませんが、どのパネルも太陽の光をいっぱい浴びて、みなさんの見ていないところでせっせと電気を作ってくれています。発電能力は167.40kw、年間の電力削減量は約18万KWhとなり、これを二酸化炭素に換算すると約100t-CO₂/年の削減となります。(一般家庭約60軒分の削減)

発電量はリアルタイムで外来ロビーに設置されているモニターに表示されます。診察の待ち時間などに、ぜひ確認してみてくださいね。



< 兵庫県立尼崎総合医療センター 太陽光発電システム >

セミナーのご案内



第76回市民すこやかセミナー

多くの方のご参加を!

テーマ 『フレイル対策～要介護にならないために～』

(フレイルとは要介護の一手前です)

【講師】 県立尼崎総合医療センター
●認知症看護認定看護師 金澤 直美
●管理栄養士 藤井 里香 ●理学療法士 中野 善之

【日時】 令和元年8月26日(月曜日)
午後2時～3時30分(開場1時30分～)

【場所】 県立尼崎総合医療センター 講堂(1階)
定員:120名(参加費無料・予約不要)

★会場の防災管理上、定員になり次第入場を制限させていただきます。
★お問い合わせ：県立尼崎総合医療センター 地域医療連携センター ☎ 06-6480-7000(代表)
●主催：兵庫県立尼崎総合医療センター ●後援：尼崎市・尼崎市医師会



スタッフのつづき



病院で働く職員のみなさんを支えます!

給与管理課 山田 舞

みなさんこんにちは。

給与管理課のご紹介をさせていただきます。名前からなんとなく想像できるかもしれませんが、私たちは病院で働く職員の給与全般を扱っています。当院には約2300人の職員が在籍しており、職種や勤務形態は多岐にわたります。

実績に応じた適切な給与の支給や通勤・扶養手当など各種手当の認定を行い、職員の皆さんの生活を支えています。患者さんと直接関わることは少ないですが、現場で働く職員の縁の下の力持ちとして、やりがいと責任を感じながら日々奮闘しています。これからも事務面から全力でサポートをしていきます!



患者さん・ご家族への病状説明等について



日頃は、当院の診療にご協力いただき有難うございます。

さて、医師の長時間労働に伴う健康被害が社会的問題として大きく取り上げられ、厚生労働省より、全ての医療機関に対して、「働き方改革」の趣旨に基づき、医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組みが求められています。

これを受け、当院の取組みとして、
「患者さん、ご家族への病状説明等」を
「平日の日勤時間内(9:00~18:00)」
 に実施させていただく方針といたしました。

病状の変化等により診療科から申し出る場合を除いて、患者さん、ご家族の都合による土曜、日曜、祝日、又は時間外の病状説明等のご依頼は、お断りする場合がございますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

今月の表紙写真

ドクターカーの紹介



ドクターカーとは、119番通報もしくは事故・災害発生の際に、消防が一刻も早く医師をはじめとする医療従事者の介入が必要と判断した場合に、ドクターカー運用を行っている医療機関に出勤を要請し、現場もしくはドッキングポイントまで駆けつけるシステムのことです。

当院のドクターカーは災害時のDMAT派遣にも対応する大型車両で、あらゆる年齢層の患者に対応できる医療機器、診療材料を搭載しています。開院時より救急集中治療科、小児救急集中治療科によるドクターカー運用を行っていましたが、地域の患者様により充実した病院前救護を提供するため、平成28年9月より循環器内科によるドクターカーの運用を開始し、今後もできる限り早期に治療介入を行い、救命率の向上を図っていきます。

編集後記

毎年のことながらやっぱり夏は暑いですね~当たり前だけど。(^^;)そんな当たり前の毎日を、当たり前で過ごしている自分の日常が、実は色々な人やことさらに支えられて、はじめて成り立っていることに、最近ようやく気づくことができるようになりました。毎年当たり前やってくる夏すらも、地球環境の微妙なバランスの上に成り立っているんだとか考えていると、暑さすらもなんだか愛おしく感じたりします。(涼しい部屋にいるとき限定で。)そんなこんなを日々考えつつ、当院に来られる患者さんが、一日もはやく当たり前の日常を取り戻せるように、これからも日々業務に励んでいきたいと思ひます。(S.O.)



兵庫県立尼崎総合医療センター

Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号 TEL 06-6480-7000(病院代表) FAX 06-6480-7001

URL: <http://agmc.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎総合医療センター

検索